

本日の目標

中世の国王：お金が必要になったら、王領地や徴税請負権（ある地域から税金を取り立てる権利）を売却したり、それらを担保に商人たちから借金をした。しかし後から、国王は借金を税金とみなしたり、また王位が替わると、先王の借金として無視することがしばしばあった。 → 国王への信用低下

敗戦とそれによる財政難 ⇒ 重税 ⇒ 封建貴族らの反発

貴族や商工業者らは支配体制の揺らぎを利用し、権利を獲得（効果は限定的）

- 1215年「マグナカルタ」…ジョン王時代
- 1628年「権利の請願」…チャールズ1世への請願

1640年 イギリス（ピューリタン）革命

クロムウェル独裁

…チャールズ1世処刑、長老派追放

1651年航海法 → イギリス・オランダ戦争へ

1660年 王政復古

() 即位 ←

↓ 反動政治、カトリック教徒を擁護

() 即位

反動政治

1688年

メアリと夫オランダ総督ウィレム3世招く

メアリ2世・ウィリアム3世即位

1689年『権利の章典』発布

- 議会政治（立憲君主政）の確立
- 近代国家へ転換

アン女王…スチュワート朝断絶

1707年大ブリテン王国成立

() … () 朝

議会の反発

1673年 ()

公職は国教徒に限る

1679年 人身保護法

議会内の対立

() 党…国王寄り

地主ら

() 党…議会主権

商工業者ら

議会 権利の宣言を決議

議会 政党政治の始まり

議会

ウォルポール内閣の成立

責任内閣制の始まり

”

”

権利の章典 (The bill of rights)

- 1 条. 国王は、王権によって議会の承認なしに、法の効力を停止し、また法の執行を停止する権限があるという主張は違法である。
- 2 条. 最近濫取され、実行されたように、法律ないしその執行適用を免除することは違法である。
- 3 条. 教会問題についての裁判所を設立することは違法にして悪質である。
- 4 条. 国王大権を口実として、議会の承認なしに、議会が承認するよりも長期間にわたって、また議会が承認するのとは異なる状態で、王の使用のために金銭を徴収することは、違法である。
- 5 条. 国王に請願することは臣民の権利であり、請願を理由に収監・訴追を行うことは、違法である。
- 6 条. 議会の承認がない限り、平時に国内で常備軍を徴集し維持することは、法に反する。
- 7 条. プロテスタントの臣下が自衛のために武器を所持することは合法である。
- 8 条. 議会議員の選挙は、自由でなければならない。
- 9 条. 議会での言論の自由、および討論または議事手続は、議会以外のいかなる裁判所や他の場所においても、これを弾劾したり問題としたりしてはならない。
- 10 条. 過大な保釈金を要求してはならない。過大な罰金を科してはならない。残虐で異常な刑罰を科してはならない。
- 11 条. 陪審員はしかるべき方法で選出し、大逆罪の裁判に関わる陪審員は自由土地保有者であるべきである。
- 12 条. 刑罰の確定前の罰金などは違法であり、無効である。
- 13 条. すべての苦情を除き、法を改正・強化・保持するため、議会はしばしば召集されなければならない。

Q 1 : 上記の「権利の章典」を読んで、この章典の良い点や気付いたことを挙げて下さい。

your answer

group's answer